009007_4_機能要件_014収納管理

項番	枝番	機能名称	改定区別	機能ID	機能要件	実装区分	備考	要件の考え方・理由	第4.1版への改定理由 （第4.0版からの変更点）	3.0版適合基準日	4.0版適合基準日	4.1版適合基準日	5.0版適合基準日
6.2.6.	1	納税証明書発行（固定資産税）	新規追加	新規採番	共有宛名の納税証明書を発行する際、代表者の宛名を代表者以外の共有者の宛名から選択して、当該共有者を代表者として納税証明書を発行できること。	標準オプション機能			市町の回答を受けて追記予定				
8.1.2.	1	軽自動車税納付確認システム（軽ｊＮＫＳ）との連携	訂正	新規採番	作成する納付情報データは、~~過去３年度以内の~~保有し得る情報（同一車両（同一の車両番号・車台番号）に紐づく全ての納税義務者の情報）から未納（課税保留含む）が無いか等を総合判断し、「一車両・一データ」で移転した車両も対象に、過年度の納付履歴から総合判断して納付情報データを作成する。 なお、現年度の課税分については、納期限前日までは「現に滞納がない」扱いとなる点に留意して総合判断すること。	実装必須機能		納付情報データの作成にあたっては、減免、課税免除等により調定が発生していない車両についても総合判断することを想定している。	最大車検更新期間３年間を前提として「過去３年度」と限定していたが、登録するデータについては各団体が判断するものであり、年度を限定せずに納付情報データを作成できるようにするため。				令和9年4月1日
8.4.3.	1	予納処理	新規追加	新規採番	予納対象者について、以下の情報を管理（設定・保持・修正）できること。 ・対象税目 ・予納であること（予納の希望を含む）	標準オプション機能		予納の申出についてeLTAX上で申請でき、税務システム側に連携するにあたり、予納の情報を管理する機能が必要であることから定義した。eLTAXを通じて予納があった場合に必要となる機能であるが、団体により予納の実績がない又は少なく、機能の必要性に差異があるため、標準オプション機能としている。	市町の回答を受けて追記予定				
	2		新規追加	新規採番	予納対象者について、以下の情報を管理（設定・保持・修正）できること。 ・予納があった年月日	標準オプション機能		予納の申出についてeLTAX上で申請でき、税務システム側に連携するにあたり、予納の情報を管理する機能が必要であることから定義した。eLTAXを通じて予納があった場合に必要となる機能であるが、団体により予納の実績がない又は少なく、機能の必要性に差異があるため、標準オプション機能としている。	市町の回答を受けて追記予定				
	3		新規追加	新規採番	eLTAXと連携し地方税の予納の申出の情報を取り込み、以下の情報を管理（設定・保持・修正）できること。 ・対象税目 ・予納であること（予納の希望を含む）	標準オプション機能		予納の申出についてeLTAX上で申請でき、税務システム側に連携する必要があることから定義した。eLTAXを通じて予納があった場合に必要となる機能であるが、団体により予納の実績がない又は少なく、機能の必要性に差異があるため、標準オプション機能としている。	市町の回答を受けて追記予定				